

社会資本総合整備計画書

(千葉県)

千葉県における津波対策計画
(復興基本方針関連(復興))

(第3回変更)

令和元年8月28日

平成31年3月14日

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (社会資本整備総合交付金)

令和元年8月28日

計画の名称	1 千葉県における津波対策計画 (復興基本方針関連 (復興))										重点配分対象の該当											
計画の期間	平成28年度 ~ 令和2年度 (5年間)					交付対象	千葉県															
計画の目標	千葉県の外房・九十九里海岸では、東北地方太平洋沖地震に伴い発生した津波が海岸の護岸や河川の堤防を越え、死者15名、建物の全・半壊、床上浸水を合わせ約2,500棟に上った。 このことから、海岸や河川における津波対策を実施することにより、災害に強い県づくりを進めるとともに、安全・安心な県民生活の確保を図る。																					
計画の成果目標 (定量的指標)	・九十九里沿岸において、レベル1相当の津波を対象とした場合の床上浸水 (最大浸水深≧45cm) の現況防護面積383haを施設整備により1,206haに引き上げる。																					
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="width: 60%;">施設が完成した背後地の床上浸水防護面積を算出する。 (浸水防護面積は全体計画の施設数量と実績数量との比例として算出)</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">定量的指標の現況値及び目標値</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">備考</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">当初現況値 (H28当初)</td> <td style="text-align: center;">中間目標値 (H29末)</td> <td style="text-align: center;">最終目標値 (H31末)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">383 ha</td> <td style="text-align: center;">942 ha</td> <td style="text-align: center;">1,206 ha</td> </tr> </table>											施設が完成した背後地の床上浸水防護面積を算出する。 (浸水防護面積は全体計画の施設数量と実績数量との比例として算出)	定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)	383 ha	942 ha	1,206 ha
施設が完成した背後地の床上浸水防護面積を算出する。 (浸水防護面積は全体計画の施設数量と実績数量との比例として算出)	定量的指標の現況値及び目標値			備考																		
	当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)																			
	383 ha	942 ha	1,206 ha																			
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	22,875 百万円	A	22,875 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%										
交付対象事業																						
A 基幹事業																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考					
									H28	H29	H30	H31	R2									
1-A1-1	海岸	一般	千葉県	直接	千葉県	飯岡海岸高潮対策事業	堤防工、開口部対策	旭市						849								
1-A1-2	海岸	一般	千葉県	直接	千葉県	北九十九里海岸～一宮海岸高潮対策事業	堤防工、開口部対策	旭市～一宮町						10,834								
1-A1-5	河川	一般	千葉県	直接	千葉県	木戸川広域河川改修事業	陸開自動・遠隔化	山武市						352								
1-A1-6	河川	一般	千葉県	直接	千葉県	南白亀川流域治水対策河川事業	築堤 (L=0.7km)、陸開自動・遠隔化	長生郡白子町						1,805								
1-A1-7	河川	一般	千葉県	直接	千葉県	一宮川流域治水対策河川事業	築堤 (L=2.1km)、陸開自動・遠隔化	長生郡一宮町外						8,007								
1-A1-9	河川	一般	千葉県	直接	千葉県	九十九里河川圏域総合流域防災事業 (真亀川)	築堤 (L=0.3km)、陸開自動・遠隔化	山武郡九十九里町						492								
1-A1-10	河川	一般	千葉県	直接	千葉県	作田川流域治水対策河川事業	築堤 (L=0.4km)	山武郡九十九里町						536								
合計											22,875											
B 関連社会資本整備事業 (該当なし)																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考					
									H28	H29	H30	H31	R2									
合計											0											
C 効果促進事業 (該当なし)																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考							
									H28	H29	H30	H31	R2									
番号 一体的に実施することにより期待される効果													備考									
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業 (該当なし)																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考							
									H28	H29	H30	H31	R2									
番号 一体的に実施することにより期待される効果													備考									

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H28	H29	H30	H31	
配分額 (a)	1,960	2,170	4,203	1,786	
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	1,960	2,170	4,203	1,786	
前年度からの繰越額 (d)	0	1,437	1,115	3,691	
支払済額 (e)	523	2,492	1,491		
翌年度繰越額 (f)	1,437	1,115	3,691		
うち未契約繰越額 (g)	547	952	2,595		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	136		
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	27.9%	26.4%	51.4%	0.0%	
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	地元調整のため	地元調整のため	地元調整のため		

※ 平成28年度以降は、決算額が確定でき次第記載。

(参考様式2) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	1 千葉県における津波対策計画 (復興基本方針関連 (復興))		
計画の期間	平成28年度 ~ 令和2年度 (5年間)	交付対象	千葉県

